



患者様の不安解消と安全な環境から生まれる卓越した技能

はやし歯科医院
福井インプラントセンター 林 正人 先生



手術内容が、多くの目で見る事ができるようにディスプレイ数箇所設置され、デジタルデータとしての記録も可能であるなど、安全を考慮した手術環境。多くの先生が研修に訪れている。

大切なことは患者様への説明

治療名人と他のモニタとの一番の違いは、患者様への説明がしやすい点です。血圧と脈拍の関係の図表は患者様にとってわかりやすく、術後、プリントアウトし、「血圧・脈拍は治療前とほぼ同じ状態ですよ」と説明すると、とても安心されます。

危険度が出たとき 中止する時の判断

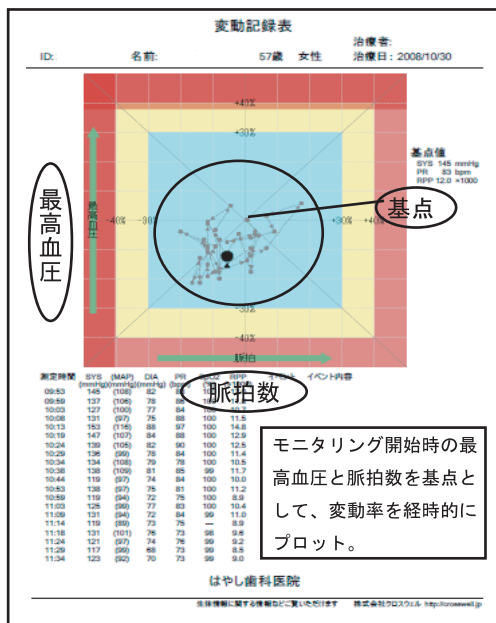
危険度が出た時は、まず患者様を診る。切開剥離後、危険な状態になった時は、深追いしないということも大切です。客観的なデータに基づいたインプラント中止の判断はお互いの立場を守ることにあります。

患者様の不安を解消させるための適切な声かけ

歯科治療は、患者様とコミュニケーションをとりながら手術をすることが可能です。患者様は治療中不安で一杯。術中に「リラックスしてますね。グラフにも出ていますよ。」とか、なぜ緊張しているかということを説明すると、リラックスされ、循環動態も安定します。患者様の不安を取り除き、より安全を追求することから、卓越した技能は生まれると思っています。

治療名人は術者の技術向上につながる

治療名人を活用すると、患者様の循環動態変動リスクから開放され、その分技術に集中できます。翻ってそれらが、患者様の安心につながるといった好循環をもたらします。こういった点からも、”治療名人は安価”と言えます。



声かけにより、循環動態も非常に安定している

はやし歯科医院 福井インプラントセンター

患者様がリラックスして、安心して医療を受けていただきたいという姿勢は、施設内の空間にも現れている。

併設の福井インプラントセンターでは後進の育成にも力を注いでいる。

〒918-8015 福井県福井市花堂南1丁目11-34
<http://www.dental-h.com/>